

Plan Do See

「^ま先ず ^{かい}隗より始めよ」 さみさと小学校 校長 山崎 康樹

さわやかな初夏が訪れ、半そで姿の子供たちが元気にグラウンドで汗を流しています。また、南から飛来しているツバメも水面を忙しそうに飛び回っています。1年で一番過ごしやすい季節となりました。4月に、さみさと小学校に赴任して、はや2か月余りが経ちました。日々子供たちの笑顔に囲まれ過ごす一時に幸せを感じています。



さて、学力の向上、英語教育の推進、道徳の教科化等、様々な教育改革が、今、まさに短期間の間に推し進められようとしています。一方、特別な支援を要する子供への対応、大量退職に伴う多くの若手教員の育成等、今取り組むべき課題も山積しています。そこで、朝日町教育委員会では、これら種々の教育改革や課題に対してスムーズな着地点を図るために、町教育センターを中心として多くの事業を計画しています。その内容の一端を紹介すると、学力向上プログラム研修、外国語活動推進研修、教務主任会を中心とした特別な教科道徳への対応、各教室に在籍する特別な支援を要する子供への支援研修、若手を対象とした授業力向上研修等、どれも、各教員にとって、今求められ学ぶべき内容となっています。

このような変革や課題が山積する時代に、これから行われる学習指導の在り方や学校教育と地域社会との関わり方を考えるとき「子供の前に立つ教員である以上、常に学び続ける教員であれ」と言われた若いころのことを思い出します。よく「教育は人なり」と言われます。また、「教師の力以上には、子供は伸びない。精進を怠るな」とも言われます。教員に常に研究と修養を求められる所以はここにあると考えます。私は、研修を辛いもの、苦痛なもの、ネガティブに考えるよりも、楽しいもの、役に立つものとポジティブに捉え、自ら積極的に研修に取り組む教員でって欲しいと考えます。それぞれの教員が自分の実践や意見を持ち寄り、本音で語り合うところにこそ真の研修があるのではないのでしょうか。

標題の「先ず、隗より始めよ」は中国の古い言葉です。人に呼び掛けるばかりでなく、自分自身が率先して取り組まなければならないという意味です。この言葉は私自身への戒めの言葉ともなっています。この一年、私も真摯にそして積極的に研修と修養に努め、先生方と語り合っていきたいと思っています。そして、先生方の力量が向上し、子供たちの健やかな成長につながっていくことを願います。一緒に頑張っていきましょう。

「先ず、隗より始めよ」の由来

中国の戦国時代（紀元前4世紀頃）、斉（せい）の国に国土の大半を占領された燕（えん）の昭王が、国威を回復させるために優れた人物を集めようと考え、宰相の郭隗（かくかい）に意見を求めました。（中略）隗は答えます「今昭王が賢者を集めたいとお考えなら、まず隗を重く用いてください。あの隗でさえあれほど重用されているという噂が広まれば、きっと、私より優れたものが千里の道を厭わずにやってくるに違いありません。」かくして、昭王は隗を重く用い、その噂が各国に伝わり、優れた人物が燕にやってきました。その結果、昭王はついに斉の国を破ることになるのです。

※ この故事は、前述したように、先ず事を成すには、自分自身から始めることが肝要だということに今は使われています。

「成長する子供たちとともに」 さみさと小学校 松井 和貴子

さみさと小学校に着任して、あっという間に2か月が過ぎました。朝日町やさみさと小学校について何も知らない私に、子供たちと先生方がたくさんのことを教えてくださいます。初めての給食の日、クラスの子供たちが「先生、さみさとの給食初めて？すごくおいしいよ！」と話してくれました。自分の学校に誇りをもち、学校のよいところを生き生きと話す子供たちのすてきな笑顔を見て、心が温かくなりました。

4月から3年2組の子供たちと一緒に過ごしていますが、子供たちの頑張る姿や成長する姿に毎日驚かされています。

「割り算が速くできるようになったよ。」「リコーダーで新しい曲を吹けるようになったよ。」など、できるようになったことを教えてくださいます。今、私が頑張っていることはリコーダーです。小学生の頃、私はリコーダーが苦手だったので、音楽の時間や休み時間に子供たちと一緒に練習しています。今の私の楽しみは、自分や友達の成長を見て、素直に喜ぶことのできる子供たちの姿を見ることです。

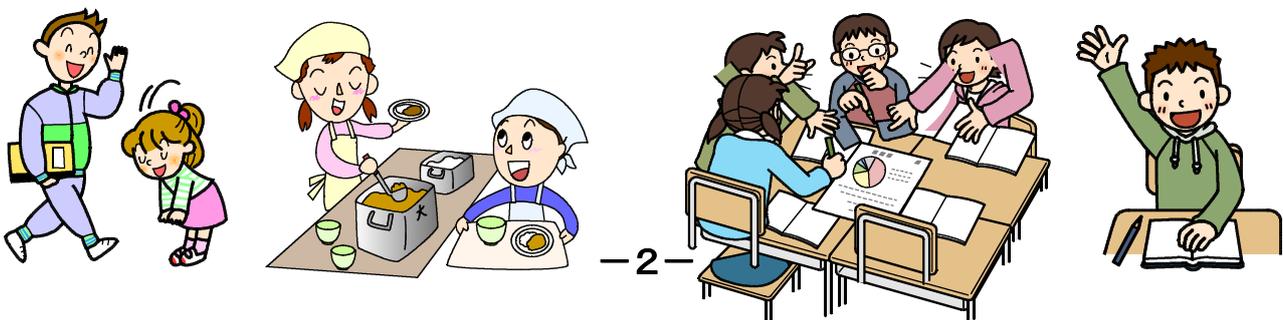
豊かな自然と温かい人に囲まれた朝日町に勤務することができ、本当によかったと感じています。不安なこともたくさんありますが、素晴らしい子供たちと先生方の姿を見て、一緒に頑張っていきたいと思います。



「新規採用教員としての抱負」 朝日中学校 川村 直弘

新規採用教員、そして初めての学級担任として勤務して2か月が経ちました。学級担任を務めるに当たり、私の中学生だった頃を思い出してみました。毎日が、明るく、楽しい中学校生活でした。「今日はどんな楽しいことがあるのだろうか。」などと、いつも考えながら登校していました。そんな私のそばには、いつも仲間がいました。仲間と協力し、勉強や部活、行事に一生懸命取り組んでいました。だからこそ、私の中学校生活は明るく、楽しいものになったのだと思います。ですから、学級の生徒にも仲間と協力して、全力で様々なことに取り組んでほしいと思っています。

2か月あまり生徒と接していますが、「先生、見ていてください！」「僕にまかせてください！」など、日々生徒の自信に満ちあふれた表情を見る機会があります。勉強や部活など、生徒は日々目標が達成され、成長を実感できたとき、自信をもって行動ができるのだと思います。私は、担任として、生徒一人一人とのコミュニケーションを大切にし、彼らが学校生活の中で全力を出しきれるように、ときには前に立って手本を示し、ときには背中をそっと押すように支援していきたいと思っています。その中で、生徒が互いを認め合い、どんなことにも協力し合えるような学級を作っていきたいと思っています。教師として未熟な面も多々ありますが、諸先輩方のアドバイスをいただきながら、また、生徒たちの姿に学びながら、教師として、一步ずつ成長していきたいと思っています。



「一生懸命！」

朝日中学校 阿部 伸彦

4月に朝日中学校で教員生活をスタートして、早2か月が経とうとしています。礼儀正しく、素直で、元気いっぱいの子供たちと活力ある先輩方に支えられて、毎日充実した日々を過ごしています。

毎朝、登校する車中で「今日の授業は大丈夫かな・・・。」「今日、一日無事で過ごせるかな・・・。」と不安と緊張でいっぱいになることが多いですが、生徒と玄関で「おはようございます。」とさわやかな挨拶を交わした瞬間、自然と笑顔になり、「今日も一日頑張ろう！」と元気が出てきます。

毎日、失敗の連続ですが、担当する国語の授業の中で、生徒が小説の解釈をめぐって嬉しそうに議論しているときや、柔道部の部活動指導中に生徒と一緒に汗を流しているときに「教師になって本当によかった！」と嬉しくなります。どんなことにも一生懸命に取り組み、謙虚に学ぶ姿勢をもって、日々生徒と共に成長していきたいと思えます。



「教師になってうれしかったこと」 あさひ野小学校 山下 雄己

私が新規採用教員としてあさひ野小学校に赴任して、約2か月が経ちました。この2か月、教師として子供たちとともに過ごす中で、嬉しいことがいくつもありました。

そのうちのひとつは、クラス目標を話し合いで決めたときでした。どの子供も意欲的に発言したり、自分の考えを紙に書いたりしながら、自分のクラスをすてきなクラスにするにはどうすればいいかを真剣に考えていました。自分の考えをもち、クラスをよくするために話し合う子供たちの姿に感動しました。

その他にも、算数の授業で「なるほど。」「分かった。」という子供のつぶやきを聞いたときや、子供たちが自分から大きくさわやかな声で挨拶をしてくれたとき、休み時間や放課後に一緒に遊びはじけるような笑顔を見せてくれたときなど、いくつもありました。

教師として、子供たちと過ごすことができる喜びを感じつつ、子供たちが目を輝かせて学ぶ場面をたくさん作ることができる教師を目指し、努力していきたいと思えます。



「体験活動を通して」

朝日中学校 山本 賢

朝日中学校に新規採用になり、1学年の副担任と理科の授業を担当しています。先日、「花のつくりとはたらき」の単元で、中庭で実際に植物を採取しました。「これは何という花？」「こんなところに咲いているんだ！」など、見慣れているはずの中庭で発見した植物の様子に驚きの声があがりました。このように、生徒が興味を持って授業に取り組んでくれたとき、私自身も楽しく授業に取り組むことができます。

また、植物の標本づくりを行ったときは、「いつも見ていたあの花はこんなふうになっていたんだ！」「花のつくりを全部観察できた！」など、生徒が知る喜びを実感した声を聞くことができました。このような生徒の声をこれからも大事にしていくために、実際に体験する活動を重視していきたいと思っています。

これからも理科という授業を通して、生徒と関わり合い、体験活動を通してできる喜びを知り、楽しく学び合えるようにしていきます。



授業力アップ研修会〈生活科・理科自然観察のための指導者現地学習会〉

日時 5月13日(水) 場所 やまざき紅悠館周辺

講師 七澤 孟男 先生 七澤 睦子 先生

グラウンドには春の草花が咲いており、学習カード「はるをさがそう」を利用して散策しました。スズメのカタバiraの花が咲いていました。講師の先生からは「スズメ」という言葉は、「小さい」という意味だと教えていただきました。普段は花に目が行き、雑草だと思っていました。



小さな花をじっくり見ると、植物の美しさと生命力を感じました。この研修を通して、生活科・理科の学習で児童生徒が自然に親しみ、自然に接する意欲や心情を高めるための支援の仕方を学ぶことができたと思います。

そして、朝日町の自然を生かした学習活動や体験を通して児童生徒の郷土の愛着を深めることにつなげたいと思います

参加された先生からは、「子供たちは、身の回りの草花で遊んだり、作ったりすることが少ないと思うので、ぜひ教えてあげたいと思います。」などの感想をいただきました。

特別支援教育研修会

日時 5月29日(金) 場所 さみさと小学校

講師 朝日町特別教育支援アドバイザー 嘉義 陽子 先生

今年度から児童生徒の教育的ニーズに基づいた支援の在り方を研修し、教員としての資質向上を図ることをねらいとして、特別支援教育研修会を始めました。

講師の先生からは、今の気になる子供の特徴について、いくつかの例を示してもらい、その支援として、○やシールをあげることなどほめられていることを視覚化するなど、「行動を強化するための関わり方」と「望ましくない行動を消去したい場合の関わり方」とを分けて指導していただきました。さらに、説明では一文一動詞の話をするなど、ユニバーサルデザインについても指導していただきました。

支援を要する子供だけでなく、すべての子供が分かる喜び、学ぶ意義を実感できるために行う支援のための示唆をいただいた研修会になりました。

参加された先生から、「誰にでもわかりやすくというのがポイントだと思いました。」や「すぐに実践できる内容で何度でも先生の話を知りたいと思いました。」などの感想をいただきました。



小中生徒指導研修会(朝日中学校の1年生の授業参観)

日時 6月3日(水) 場所 朝日中学校

中学校1年生の3クラスの授業を参観した後、新1年生の現状と小中の連携について情報交換、意見交換をしました。冒頭の挨拶で吉田センター所長代理は「学習指導は発達段階に応じた内容が成文化されているが、生徒指導はされていない。そのため小・中に壁があるが、それを埋めるのがこの会です。」と言われました。小学校からは6年生時の担任、中学校からは新田カウンセリング指導員、米田1学年主任、飯田生徒指導主事、加えて勝田スクールソーシャルワーカーを交えて、中学1年生の様子や気になる生徒の動きについて情報交換を行いました。「小学校のときと比べて背筋を伸ばして真剣に授業を受けている姿に感銘を受けた。」「小学校のとき手厚く指導されていた子供も、中学校では教科担任制で多人数の中の一人であるので気がかりだ。」などの意見が出されました。中1ギャップを埋めるために小中の連携のきっかけとなる研修会になりました。

研修会 講演会の案内

朝日町小中学校教育講演会

6月25日(木) 朝日町役場大ホール

講師 上越教育大学教職大学院
教授 西川 純 先生

演題「アクティブ・ラーニングとは何か？」

「次期学習指導要領のキーワードである『アクティブ・ラーニング』とは何か」、「なぜ必要なのか?」「目指すものは何か?」など、今後の指針を示してもらえと思っています。



第1回学校教育運営研修会

8月6日(木) 朝日町図書館

講師 株式会社 四十物昆布
取締役社長 四十物 直之氏

演題「先人・先輩に学ぶ」

富山県に關係する先人や先輩に触れ、今日の日本についてお話になります。



授業力アップ研修会

8月7日(金)

さみさと小学校理科室

講師 県総合教育センター科学情報部の先生

内容① 「水の沸騰する温度」実験

水が沸騰する温度は100℃というのは誰でも知っていますが、いざ実験をしてみると、温度計は100℃を指しません。その場になって焦らないようポイントを丁寧に指導してもらいます。

内容② 「月の満ち欠け」実験

月は日中観察できないこともあって、観察を子供にまかせているのが現状です。そこで、実験装置を使って子供とともに観察する方法を学びます。

道徳に関する講演会

8月10日(月)

入善町うるおい館

講師 日本道徳教育学会
名誉会長 横山利弘先生

演題「道徳の教科化に対応するために」

平成30年度から道徳が特別な教科となり、教科化が実施されます。「免許はどうするのか」「誰が教えるのか」「何を準備すればよいのか」「教科書はどんなものになるのか」「評価はどうなるのか」「数値化されない評価をどう所見で表せばよいのか」「指導をどう工夫すればよいのか」等々、教科化されるにあたっての疑問に明快に答えてもらえと思っています。

第2回学校教育運営研修会

8月12日(水) 朝日町図書館

講師 日本中体連バレーボール競技部
強化委員長 竹村 昭浩 先生

演題「人間力を高める」

運動の本質的な楽しさを感じられる体育学習や質の高い部活動運営を行うためにも「ゴールイメージ」の明確化、共有化が必要である、など、長年全日本中学選抜の監督をされた経験などからお話しになります。



郷土を学ぶ研修会(現地学習会)

8月18日(火) 8:45~12:00

(朝日町教育センター8:45集合)

講師 木曾義仲・巴と宮崎太郎あさひ塾
蓬澤 正二 先生
チュリストやまざき
代表 山崎 修二 先生

見学場所① 宮崎城跡

蓬澤先生の案内・解説で県内最古の山城である宮崎城跡を見学し、朝日町の歴史を学びます。

見学場所② 舟川新(チュリストやまざき)

毎年4月に舟川ベリの桜、残雪の朝日岳との3重奏で有名な山崎さんの栽培するチューリップ畑を見学し、農業について学びます。

☆ まだまだたくさんの魅力的な研修会、講演会があります。是非とも時間の都合つけて参加しましょう。(次のページに載っています)

主なセンターの事業(6・7・8月)

- 6月 2日(火) 情報教育研究調査員会②
 6月 3日(水) 小中生徒指導研修会①
 6月 9日(火) 研究主任会①
 6月10日(水) 郷土教育教材開発研究調査員会①
 6月12日(金) 小中高生徒指導連絡協議会①
 6月17日(水) 児童生徒作品展実行委員会①
 6月18日(木) 外国語活動推進委員会②
 6月25日(木) ■小中教育講演会
 講師 西川純先生
 6月29日(月) 適応指導教室開設準備委員会②
 7月 1日(水) 郷土教育教材開発研究調査員会
 7月 2日(木) 学力向上推進委員会②
 7月 4日(土) 理科参考展(吉田科学館)
 5日(日)
 7月 7日(火) 外国語活動推進委員会②
 7月 8日(水) 情報教育研究調査員会②
 7月27日(月) ■理科教育講座
 (自然観察中級講座)
 8月 3日(月) ■学力向上プログラム研修会
 講師 高橋純先生
 8月 4日(火) 情報教育研究調査員会③
 8月 5日(水) ■情報教育研修会
 (授業におけるICT機器の活用)
 8月 6日(木) ■第1回学校教育運営研修会
 講師 四十物直之先生
 8月 7日(金) ■授業力アップ研修会
 (理科実験講座)
 8月10日(月) ■道徳に関する講演会
 講師 横山利弘先生
 8月11日(火) ■指導力(学力)向上講演会
 講師 野口芳宏先生
 8月12日(水) ■第2回学校教育運営研修会
 講師 竹村昭浩先生
 8月18日(火) ■郷土を学ぶ研修会(現地研修会)
 8月19日(水) ■生徒指導に関する講演会
 講師 松田素行先生
 8月21日(金) ■小中高教育講演会
 講師 水上義行先生

■の項目は研修会です



センター運営委員・調査員

□ 朝日町教育センター運営委員

校長会	代表	吉田 尚史
小教研	代表	松原 隆志
小中学校	代表	山崎 康樹
教頭会	代表	内山 真之
教務主任会	代表	大森 敦

□ 郷土教育教材開発研究調査員

あさひ野小学校	大野 晴美(委員長)
朝日中学校	川村 直弘
あさひ野小学校	水島 真寿美
さみさと小学校	梨木 宏子
さみさと小学校	高澤 朋美

□ 情報教育研究調査員

さみさと小学校	内山 真之(委員長)
朝日中学校	宮野 哲章
	木下 智玄
	山田 智徳
あさひ野小学校	山下 雄己
さみさと小学校	青嶋 浩
さみさと小学校	鍋島 祥平



編集後記

朝日町教育センターには、学級経営、生徒指導のみならず、教育の今日的課題に対応できるたくさんの資料、図書があります。ルーティンワークに追われる日々だと思えますが、日頃の指導のヒントになるものを用意していますので、気軽に電話をするなり、立ち寄るなりしてください。

発行:朝日町教育センター

〒939-0743
 富山県下新川郡朝日町道下1053-1
 TEL (0765)83-0279
 FAX (0765)83-0279
 E-mail asahi-ec@tym.ed.jp
 Webサイト http://www.asahi-c.tym.ed.jp/